



高岡天ヶ城麓地区歴史的街なみづくり

ワークショップだより

3号

平成23年1月22日(土) 第3回ワークショップ

高岡天ヶ城麓地区の街なみづくりについて考えるワークショップもいよいよ最終回。今回は1月22日の午前9時半から、高岡天ヶ城麓地区武家住宅にて約30名の参加者のもと、前回に引き続き、県景観アドバイザーで県建築士会（宮崎市景観整備機構）の松竹さんの進行により開催されました。

前回までの議論の結果をもとに、整備の方向性を示すキャッチフレーズの発表を行いました。その後、キャッチフレーズを実現するためのハード面、ソフト面双方における景観プランを、グループに分かれて活発に議論しました。



ワークショップの流れ

第1回「まちを共有し、課題を探ろう」
11月27日(土) 13時～16時
高岡天ヶ城麓地区武家住宅
・まちを歩き、地区の魅力や問題を共有する。

済

第2回「将来像を考えよう」
12月18日(土) 10時～12時
高岡天ヶ城麓地区武家住宅
・守り育てる要素、まちづくりの方針を検討する。

済

第3回「実現に向けて話そう」
1月22日(土) 9時半～12時
高岡天ヶ城麓地区武家住宅
・まちの将来像や具体的なプラン等を検討する。



プログラム

9:30 開会・あいさつ
9:40 グループ分け
9:55 前回の振り返り
●キャッチフレーズ発表
10:00 景観プラン作成
●ハード面・ソフト面のプラン作成
11:20 ワークショップまとめ
●グループ発表、講評
12:00 閉会

■問い合わせ

・高岡天ヶ城麓地区歴史的まちなみ整備住民協議会
松本(会長)、岩崎(副会長)、松浦(事務局) 電話 82-5189
・宮崎市景観課 沼口・柿木 電話 21-1817

キャッチフレーズ発表

歴史とくらしがふれあう心豊かなまち

～歴史的資産を活かした、心癒される高岡天ヶ城麓地区のまちなみづくり～

前回、グループごとに考えたキャッチフレーズをもとに、事前に協議会役員、建築士会、コンサルタント、市で話し合い、今後の整備の方向性を示す一つのキャッチフレーズを決めました。

地元の方々のくらしと調和した歴史的街なみ整備を目指すとともに、この高岡天ヶ城麓地区を、「住む人や訪れる人の心がふれあえる、心癒されるまちにしていきたい」という意味が込められています。

景観プラン作成

キャッチフレーズを実現するための景観プランについて、1・2班がコンサルタント会社としてハード対策、3・4班はまちおこしグループとしてソフト対策を検討しました。

- ハード対策：予算は沢山ある。地区の景観づくりに必要な、夢のある施設の整備内容を考える。
- ソフト対策：予算はゼロ。自分達で今すぐにでも出来る取り組みや景観ルールなどのアイデアを考える。

1 班 (ハード対策)	2 班 (ハード対策)
会社名：(株)A.F.M.C. (天ヶ城麓地区まちなみコーポレーション) - 鉄筋の天ヶ城は平屋・木造に建て替える。 - 天ヶ城との連携を図るため、天ヶ城から内山神社までの道を整備。石畳、土色舗装、砂利など場所に合った舗装や桜並木の整備を行う。 - 内山神社参道において、桜並木と水路を活かした街なみ整備を行う。石畳や街灯の整備。 - 内山神社参道商店街を江戸時代の街なみに整備。 - 家屋や小学校沿い土手には石垣や竹垣を設置。また、板張りなどによる修景を行う。 - 電線や古びた街灯など見苦しいものは取り除く。 - 傷んだ武家門や武家住宅の修復を行い活用する。 - 殺風景な中央ふれあい広場を日本庭園に整備。 - 派手な建物は撤去し、観光客駐車場として整備。 - 総合支所を街なみと調和した建物へ改築。 - ゴミ置場は木造など街なみと調和したものとする。 - 保育園西駐車場をビューポイント公園として整備。	会社名：石水企画 - 道路沿いの住宅の塀は全て石垣とする。竹垣は手入れが困難なので市の施設に設置。手入れは地元や造園系の大学との協働で行う。 - 小学校前通りの歩道を拡幅し、水路を復活させる。住宅への出入口の水路には太鼓橋を架ける。また、カニやメダカなどがいる癒しの水路とする。 - 小学校前通りや内山神社周辺に桜並木を整備。道路が狭いので個人宅に植栽する「屋敷桜」とする。 - 内山神社参道や空き店舗を土産屋として整備。 - 武家住宅、空き店舗、内山神社を休憩場所として整備する。 - 小学校裏の護国神社は行きにくい。整備が必要。 - 給食センターの位置やデザインを見直す。 - 街なみに不調和な総合支所は撤去し、駐車場を整備。 - 地区内や幹線道路に観光客のための案内看板（街なみと調和したもの）を整備。
3 班 (ソフト対策)	4 班 (ソフト対策)
グループ名：天ヶ城麓社中 - 活動資金として賛同者から年会費 500 円を頂く。 - 街なみのルールをつくる。緑の統一感を図る。 - 都市計画道路（小学校前通り）の見直し。 - 街なみ案内人の育成、登録。 - 住民、来訪者、子供を巻き込んだイベントを開催し、まちへの愛着醸成や担い手育成を図る。 ○イベントカレンダー（主なもの） 3月～4月：桜祭りに向け、通りの清掃や花の植栽を実施。桜並木を活かしたイベントや企画を練る。 5月～8月：内山神社祭（復活）を核に、竹垣ワークショップや石垣の水洗いを実施。 9月～11月：文化祭に向け、子供達による竹灯籠の作成、写真スポットの選定。 12月～1月：クリスマス竹ツリーや門松の設置。 - 通年：月一回の歴史勉強会、手作りマップ作成、街なみ案内ツアー、武家住宅でのお茶会など。	グループ名：かきね会 - まちづくりの推進には、人の和を作っていくことが重要。そのために武家住宅での飲みニュケーションなど、語る場が必要。 - 出来ることからしていくことが重要。 「高岡麓クリーン隊」の結成。ボランティアによる竹垣の設置管理（年4回）のほか、高齢者宅前の清掃など日常生活において互助の精神で行動する。 - 内山神社祭の復活。八坂神社との連携を図る。 - 個人の力が大切。街なみのルールのほか、住宅前の花植栽など穏やかなルールづくりも行う。 - 町内町外への情報発信。 - 麓地区協議会と他地区との連携を図る。連携により心の「かきね」を壊していく。 - 地区内にお知らせ看板の設置。 - 月ごとのイベントを開催。ターゲットを絞って企画。 - まち歩きルートマップの作成。

最後に、協議会副会長岩崎さんから、地元としての決意や今後の協力を求める内容の挨拶がありました。今後、ワークショップの結果を取りまとめ、整備案や景観ルール案を策定する予定です。これからもご協力お願いします。



最後に皆さんに今後の決意を書いてもらい、住宅の梁に貼りました。

アドバイザー（松竹さん）の一言

第3回（最終回）ワークショップ（WS）お疲れ様でした。前回皆で検討して得られた高岡の将来イメージに対するキャッチフレーズを基に、具体的に創造的プランを練り上げる…これが今回の目的でした。短時間ながらハード・ソフト両面から沢山の提案が得られました。これをベースに高岡らしい景観まちづくりがきっと実現していくことでしょう・・・町内外の多くの皆さんと一緒に前向きな話しかできたこと、それ自体が既にまちづくりの一步を踏み出しているのですから・・・（追伸：毎回楽しいWSでした。私もこれから高岡のまちづくりを応援していきます。それにしても未熟な進行役でごめんなさい・・・皆さんに感謝です。）